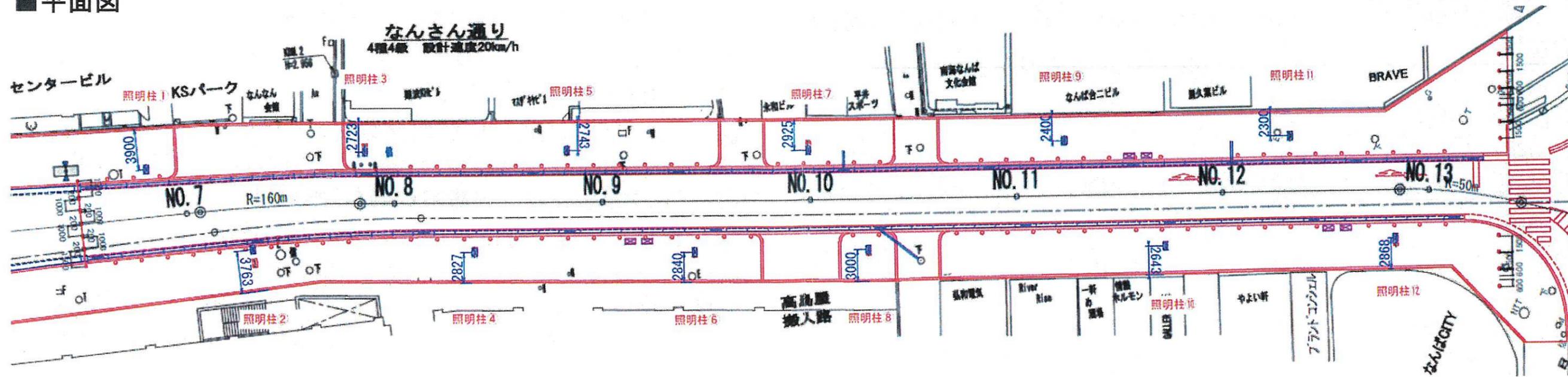


なんさん通り街路灯の東西方向位置の検証結果

■ 平面図

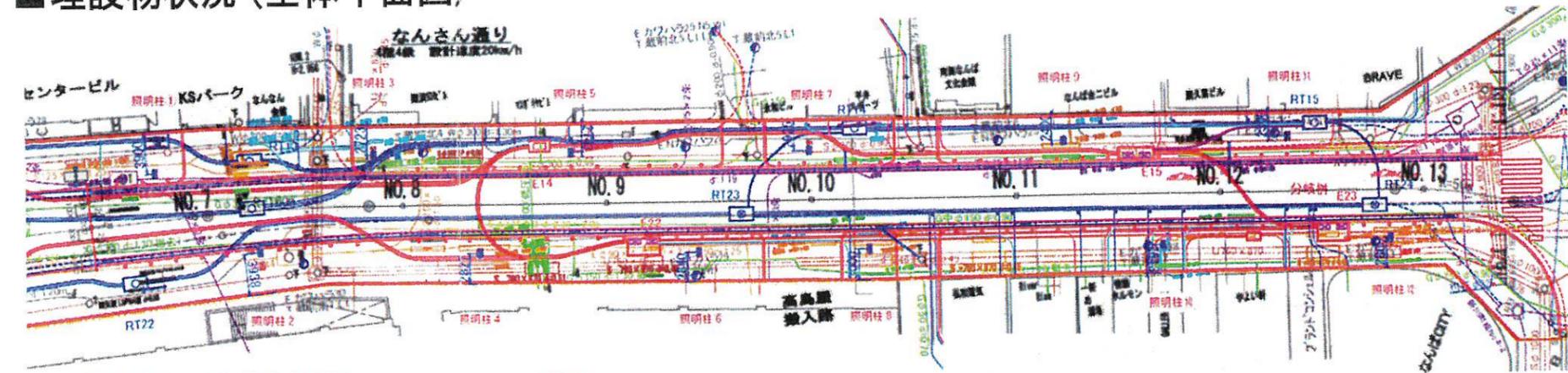


■ 官民境界からの距離(mm)

今回精査の結果、全体的に大きく変わっていないが、直線に並べることより可能なものだけでも車道側へ寄せることを優先

位置	9/26案	今回
① 難波CB前	3903	3900
② 高島屋横	3300	3763
③ 難波KHビル前	2577	2723
④ 高島屋横	2902	2827
⑤ マスザキヤビル前	2913	2743
⑥ 高島屋横	2886	2840
⑦ 永和ビル前	2625	2925
⑧ 高島屋横	3092	3000
⑨ 旧文化会館前	2363	2400
⑩ 旧ギャラリーレア前	2878	2643
⑪ BRAVEビル前	2316	2300
⑫ CITY東ビル前	2791	2868
平均	2879	2911

■ 埋設物状況 (全体平面図)



- ==: 電線共同溝(電力系)
- ==: 電線共同溝(通信系)
- : 電力
- : 通信
- : ガス
- : 上水
- : 下水(管)
- ==: 下水(暗渠)

■歩車道境界付近に建てられない理由

位置	官民境界距離mm	埋設物と重なる	埋設物の上部NG	電線共同溝が存在する	車道からの離隔NG
① 難波CB前	3900	} ほぼ歩車道境界付近に設置可			
② 高島屋横	3763				
③ 難波KHビル前	2723		◎		
④ 高島屋横	2827		△		○
⑤ マスザキヤビル前	2743		○		
⑥ 高島屋横	2840	△		○	
⑦ 永和ビル前	2925		○		
⑧ 高島屋横	3000	△		○	
⑨ 旧文化会館前	2400	△		○	
⑩ 旧ギャラリーレア前	2643	△		○	
⑪ BRAVEビル前	2300	△		◎	
⑫ CITY東ビル前	2868		△		◎

○電線共同溝を歩車道境界付近に設置した理由

- ・電線共同溝には電力系と通信系の2種類あり。(各東西計4系統)
- ・**地上機器(電力系)は歩車道境界付近歩道が必須**であり、マンホール(通信系)も歩道が望ましい。
- ・実際には、歩道に既存埋設物が密集していたため、歩道境界付近にあるのは電力系の東側の一部と西側である。通信系の多くはやむを得ず歩道を避けて街路灯設置の余地を残した。
- ・地上機器のみ歩車道境界付近とし途中の配管はルートを曲げて車道に入れる方法については、多数の埋設物と交差することになり、前記離隔確保のため**倍の深さ**を掘らなければならず、**距離も長くなりコストが大幅に上がる**ため、一部区間のみに留めざるを得なかった。
- ・なお、地上機器の位置は要望により2022秋に変更している。

- 歩道上設置物に対して車道から一定の距離(離隔)確保の必要
- ・歩車道境界から250mm未満には法的に物を設置できない。(高さ4.5m以上を除く)

○既存埋設物の移設を行わない理由

- ・調整と工事に約2年間余分にかかる
 - ・約40百万円の工事費増
- 本事業の中で建替を行うことの説明がつかなくなる。

【参考】本事業での電線共同溝の設計・調整・施工スケジュール (通常は数年)

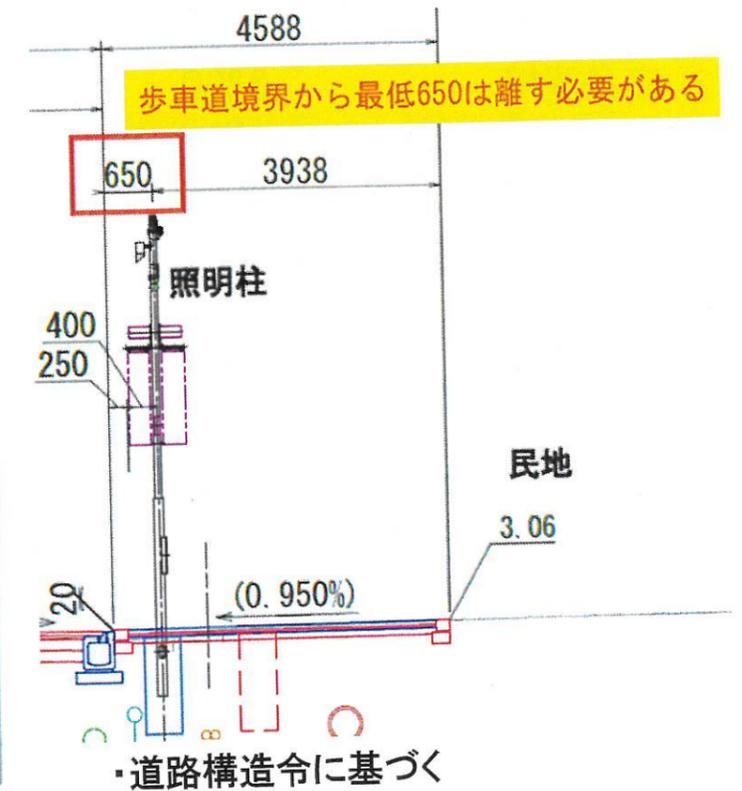
2021年度	詳細設計、主要箇所試掘(2021秋~2022夏)
2022年度	インフラ事業者等と調整し随時設計変更
2023年	試掘(3月~)、電線共同溝工事(8月~2024秋予定)

○埋設物上部に街路灯基礎設置NGの理由

- ・埋設インフラにトラブルが発生した場合、上部に街路灯があれば移設や撤去が簡単にできず、**即時的な対応が困難**になる。
- ・埋設インフラの維持管理のため、上下の埋設物とは30cm(物によっては50cm)以上間隔を空ける設計基準がある。街路灯基礎は最低1.1mの深さであるが、ほとんどの埋設インフラは深さ1.4m以下であるため、基準を守れない。

区分	平行	交差	構造物	記事
E・KOPT	30cm	30cm	30cm	15cm高は700mm超える。OCU、平行・交差・急し。地の影響を考慮してファイバーケーブルの深さは30cm(平行・交差)
T	30cm	上越し30cm 下越し15cm	30cm	
G	φ・高さ	サイズにより 30~40cm	30cm	平行 φ400以上は40cm
	高さ	50cm	30cm	30cm
W	φ500mm未満	30cm	30cm	
	φ500mm以上	50cm	50cm	500mm以上の埋設物は50cm
S	40cm	40cm	40cm	

・近畿地方整備局 電線共同溝マニュアルより



・道路構造令に基づく